

日本共産党市議団の一般質問

高齢者補聴器購入助成制度実現を



細野りゅう子市議

細野りゅう子市議は、東京都の「補聴器購入助成制度」を活用して、町田市も購入補助を実施するよう求めました。「ヒアリングフレイル対策として検討する」といきいき生活部長が答弁。都制度は「補聴器購入」を進めることが目的であり、市でも早急に実施するよう求めました。

また、災害時の防災対策や避難所体制の充実を求めて質問しました。避難所におけるジェンダー対策と合わせて、避難所運営に女性の配置を求めました。最後に、訪問介護施設の報酬改定による影響について質問し、担当部長は施設の減少など影響はないと答弁しましたが、改めて施設の実態や意見の調査を行うよう求めました。

マイナ保険証の取得は任意です



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、マイナ保険証の一本化について質しました。いきいき生活部長は、「現行の被保険者証の有効期限が終了した後は、マイナ保険証か資格確認書のいずれかで受診できる。マイナ保険証をお持ちでも受診が困難な方には、申請により「資格確認書」を交付する」と答弁。高齢者へのごみ出し支援については、環境資源部長が「安否確認を兼ねた“ふれあい収集”の増加が見込まれるので、継続させていきたい。粗大ごみの居宅内からの持ち出しサービスは、他市の実施状況を情報収集していく」としました。

性教育の充実を求めて



田中美穂市議

田中美穂市議は、児童生徒を性暴力の被害者にも加害者にもさせない取り組みについてとりあげ、「生命（いのち）の安全教育」の実施状況について質問。指導室長が、2023年度から全ての小中学校の教育課程に位置付けて実施していると答弁しました。市内中学校を中心に養護教諭と助産師が協力して実施している「命の授業」について、教育的意義を共有していると指導室長が答弁。田中市議は、長野県岡谷市では、市の事業として予算をつけて全校実施をしていることを紹介し、町田市でも取り組みの拡充をすることを求めました。

芹ヶ谷公園パークミュージアム計画は白紙撤回



殿村健一市議

殿村健一市議は、芹ヶ谷公園の自然と原風景を壊す（仮称）国際工芸美術館建設工事は中止し、市民案で計画を見直すべきと質問。部長は、事業は進めると答弁しました。請願が採択された市立さるびあ図書館は存続すべきと質問。部長は、「さるびあ図書館は中央図書館に統合する」と答弁。殿村市議は撤回を求めました。町田駅周辺開発の質問に、部長は、再開発では参加組合員として大手デベロッパーを想定している。D地区の公共施設、音楽・演劇ホールへの市に関与の可能性があるかと答弁。開発優先ではなく「住まいの権利」擁護を求めました。

無料法律相談

2月12日(水)・26日(水)
3月12日(水)・26日(水) 午後2時～5時

要予約 ☎042-723-6312まで

※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

どうぞお気軽に

生活相談はいつでもお受けします
042-724-4030 日本共産党会派室

「地域活用型学校」って何？ 体育館や校庭有料化の検討が

町田市の「新たな学校づくり」の第1期計画である本町田地区、南成瀬地区、鶴川西地区、鶴川東地区の統廃合と南第一小の建て替え事業が、説明や見直しを求める市民の声に背を向けたまま進められています。この計画と並行して検討されているのが、多様な人々が活用できる「地域活用型学校」です。公立学校は、原則として、学校教育を行う目的で設置されています。町田市は、学童保育クラブ、防災倉庫を併設していますが、学校のある用途地域ではそれ以外の一般的な公共施設等の設置は認められません。町田市は、公立学校を「地域活用型学校」として、予約システムを利用して申し込み、市民に有料で貸し出しができる「集会場」や「スポーツ練習場」を設置できるように変えようとしています。

そのために、現在の学校用地という都市計画上の位置づけを、特別用途地区に変更して制限を緩和することが必要となります。今後、「新たな学校づくり」第1期で整備する5校(本町田ひなた小、成瀬小、南第一小、「鶴川東地区」小、「鶴川西地区」小)の用途地域を、学校用地から特別用途地区に変更する計画で、25年6月に都市計画審議会での審議と、議会への条例提案、7月には市民への縦覧、8月の都市計画審議会で決定するという予定で進められようとしています。

学校の体育館や校庭などの施設は、これまで無料でスポーツや地域の催しものに市民利用されてきました。今後町田市が、「全ての学校施設を“地域活用型学校”にする」(教育部長答弁)ねらいは、大規模な学校統廃合や図書館削減などの公共施設再編計画をすすめながら、「市民生活の拠点づくり」の名で、学校施設の管理運営に民間事業者を参入させ、市民に新たな受益者負担を求めるものです。少人数学級など豊かな学校教育の保障と生涯学習への市民参加の機会を奪ってはなりません。市民の声を聴くべきです。



成瀬小学校として4月から開校予定の南成瀬小

野球場の利用料金、1.5倍に値上げ！
市民の「する」スポーツの機会奪うなど共産党反対

町田市は野球場の利用料金を、2025年8月1日から現行の1.5倍にする条例改正案を今議会に提出。対象の球場(町田市民球場・藤の台球場・鶴川球場・野津田球場・三輪みどり山球場)は、地域の少年野球や草野球チームが安価でスポーツを楽しめる公共施設ですが、市の『受益者負担の適正化に関する基本方針』では、選択的で民間に類似サービスの提供ありの受益者負担割合100%となっています。現在は負担率が30%に満たないため、利用料金を2時間2090円(町田市民球場は3140円)から激変緩和で1.5倍に値上げし、さらに100%を目指すと。そうなれば気軽に練習などで使えなくなり、市民の「する」スポーツの機会を奪うことになると日本共産党は反対しましたが、賛成多数で可決されました。



日向山公園にある藤の台球場

共産党提出「大学学費値上げ中止求める意見書」否決に								
請願・意見書	日本共産党	市民クラブ	公明党	自由民主党	選ばれる町田	無所属	諸派	可否
大学学費の値上げ回避のための緊急助成を求める意見書	◎	△	×	×	×	△	△	否決
企業・団体献金の禁止を求める意見書	◎	△	×	×	×	△	△	否決
国に対し、町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と住民への説明会実施を、JR東海に指導することを求める意見書	◎	○	×	×	×	○	△	可決
2～3年完成が遅れても、15億円以上の予算を節約可能でさらに現在の建設計画の多くの問題を解決可能な、(仮称)国際工芸美術館関連の建設計画の変更見直しを求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
6月請願採択に則り、町田市の第一期統廃合計画の延期と見直しを求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
「新たな学校づくり」＝「地域活用型学校」についての策定、契約、教育に関わる情報を市民にわかるように公表、説明することを求める請願	○	○	×	×	×	○	△	採択